

京都の伝統的工芸品産業

京友禅京小紋生産量 調査報告書

令和7年度分

(自 令和6年12月1日 ～ 至 令和7年11月30日)

京友禅協同組合連合会

ま え が き

令和6年12月から令和7年11月までの1年間における令和7年度分京友禅（京小紋を含む）生産量について調査を実施し、このほどその結果を取りまとめ、発表する運びとなりました。

この調査は、統計の継続的利用を考慮して、基本的にはこれまでと同様の方法で実施しました。（詠染生産量については、傘下の京都詠友禅工業協同組合の解散（令和6年4月）を受け、前回調査（令和6年度）以降、調査対象から除外しています。）

今回の調査の結果、令和7年度分の総生産量は213,251反で、前年度比7.4%の減少となりました。生活様式の変化や価値観の多様化、少子高齢による人口減少などもあって、長期的に減少傾向にあり、最盛期の昭和46年度（16,524,684反）の1.3%にまで減少しています。京友禅業界のおかれている環境は、大変厳しい状況が続いています。

令和8年3月に公表された内閣府の月例経済報告によると「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。」とされています。

人の移動や経済活動は、新型コロナ禍前の状況に戻り、海外からの旅行者も、多数が「和」の文化の中心である京都を訪れ、オーバーツーリズムが叫ばれるほどになっています。“きもの”は、「和」の文化の象徴的な存在であり、特に、京友禅、京小紋のきものは、優れた技術の結晶と言うべきものです。これをその技術とともに継承していくことは、日本のアイデンティティに関わる重要な課題だといえます。

当連合会としましても、京友禅産地のおかれている厳しい状況を踏まえ、行政、和装業界や産地組合等との連携をさらに強化し、和装需要の創出を図るとともに、伝統的な京友禅・京小紋の技術を基礎としながら、海外展開を視野に入れた新商品開発を行うなど新しい挑戦に取り組んでまいりたいと存じます。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力いただいた関係各位に深く謝意を表しますとともに、この調査結果をご活用いただき、京友禅の振興のために一層のご支援、お力添えを賜りますようお願いいたします。

令和8年3月

京友禅協同組合連合会

理事長 山田 容永

目 次

○ 調査要領	3
○ 令和7年度分 京友禅京小紋生産量調査結果の概要	
1 総生産量について	4
2 従事者数規模別の生産数量	4
3 染色加工技術別の生産数量	6
4 素材別の生産数量	6
5 品目別の生産数量	7
6 指定伝統的工芸品「京友禅」、「京小紋」別の生産数量	8
7 染帯の生産数量	9
8 むすび	9

調 査 要 領

1. 調査対象期間

令和6年12月1日から令和7年11月30日までの1ヵ年間

2. 調査対象の事業所

京都友禅協同組合	43事業所
京都工芸染匠協同組合	28 //
京都手描友禅協同組合	9 //
京都引染工業協同組合	3 //
計	83 //

(註) 令和5年度までは仕入染と詔染に区分して調査していたが、詔染を行っていた京都詔友禅工業協同組合が令和6年4月末に解散したため、令和6年度の調査以降、詔染を調査していない。

3. 調査方法

対象組合を通じて、各組合の組合員事業所へ調査票を配布し、令和7年12月22日までに各所属組合へ提出を求め、組合は調査表の記載内容について点検・整理を行い、これを集計して令和8年1月23日までに連合会へ提出し、さらに連合会において点検、整理を実施して集計・分析を行った。

調査の内容は、次の項目としている。

- (1) 生産量（仕入染のみを対象としている。）
- (2) 型染、手描染、ろうけつ染、機械捺染・インクジェットの染色加工技術別生産量
- (3) 正絹、合化繊の素材別生産量
- (4) 着尺、羽尺、振袖、訪問着などの品目別生産量
- (5) 京友禅、京小紋の分類別生産量
- (6) 各事業所の従業者規模別生産量

4. 調査結果のまとめ

調査票の集計及び調査結果の分析は、本連合会事務局で行った。

令和7年度分 京友禅京小紋生産量調査結果の概要

1. 総生産量について

令和7年度における京友禅（京小紋を含む。以下同じ）の総生産量は、統計表の表－1のとおり、213,251反で、前年度の230,211反に対して92.6%となった。昭和46年度の16,524,684反をピークに、その後、減少傾向が続いている（例外：平成20年度、平成30年度、令和4年度等）。

10年前の平成27年度を100とした場合、令和7年度は51.6%で、ほぼ半減している。京友禅業界のおかれている環境は、長期減少傾向に新型コロナウイルス感染症による大きなダメージが加わり、そこからの回復が進まず、厳しさに拍車が掛かった状況が続いている。

統計表の表－1から染色加工技術別に前年度と比較すると、型染が34,932反（前年度34,872反）で100.2%、手描染が22,572反（前年度23,826反）で94.7%、ろうけつ染が671反（前年度905反）で74.1%、機械捺染が90,924反（前年度105,750反）で86.0%、インクジェットが64,152反（前年度64,858反）で98.9%となっている。型染が60反の微増となったが、近年増加傾向にあったインクジェットが706反の減少となったほか、手描染が1,254反の減少、機械染捺染が14,826反の減少となった。ろうけつ染は、もともと生産量が少なく、234反の減少が比率としては大きく低下した。

京友禅生産量の推移

(単位：%)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
平成27年度を100とする趨勢	90.8	88.1	94.0	90.1	66.6
各年度の前年度対比の増減率	△9.2	△3.0	6.8	△4.2	△26.0

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
平成27年度を100とする趨勢	63.9	67.4	59.3	55.7	51.6
各年度の前年度対比の増減率	△4.1	5.6	△12.1	△6.1	△7.4

平成27年度を100.0とした比率

2. 従事者数規模別の生産数量

京友禅業界の染色加工技術は大きく5分類され、さらにその生産加工は、多岐

にわたる専門分業形態により行なわれている。調査対象となったこれら事業所について、従事者の規模別に生産量をみると次のとおりである。

まず、事業所について、従事者の規模別にその分布状況をみると、1～3人が53.0%、4～5人が15.7%、6～10人が14.5%、11～15人が10.8%、21～30人が4.8%、16～20人が1.2%の順となっている。10人以下の事業所は全体の83.1%を占めている。

また、規模別に構成比を前年度と比較すると、ウェイトが最も大きく増加したのは、6～10人の10.6%から14.5%で、最も大きく減少したのは4～5人の18.8%から15.7%であった。

次に、1事業所当りの平均生産量をみると2,569反で、前年度の2,708反と比べ94.9%となっている。これを事業所従事者の規模別にみると、16～20人が14,916反と最も多く、次いで21～30人が9,864反、11～15人が9,580反、6～10人が3,093反の順となっており、6人以上の事業所が平均を上回っている。

また、従事者1人当りの平均生産量をみると、475反で前年度の490反と比べ96.9%となっている。これを規模別にみると、16～20人が877反と最も多く、次いで11～15人が798反となっており、この2階層が平均を上回っている。

なお、規模別生産量の構成比では、11～15人の事業所が全生産量の40.4%と最も高くなっており、11人以上は65.9%、10人以下は34.1%となっている。前年度と比較すると、11人以上は76.1%から10.2ポイント減少し、10人以下は23.8%から10.3ポイント増加となった。10人以下のウェイトが約1/4から約1/3へ高まった。

従事者数規模別の生産数量

(単位：反)

区 分	1～3人	4～5人	6～10人	11～15人	16～20人
規模別企業数	44	13	12	9	1
同上構成比	53.0%	15.7%	14.5%	10.8%	1.2%
1企業平均生産量	333	1,608	3,093	9,580	14,916
平均1人当り生産量	193	373	399	798	877
規模別生産量構成比	6.9%	9.8%	17.4%	40.4%	7.0%

区 分	21～30人	31～40人	41～50人	51～人	計
規模別企業数	4	0	0	0	83
同上構成比	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
1企業平均生産量	9,864	0	0	0	2,569
平均1人当り生産量	399	0	0	0	475
規模別生産量構成比	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

3. 染色加工技術別の生産数量

統計表の表－2から染色加工技術別に型染、手描染（ろうけつ染を含む）、機械捺染及びインクジェットの生産数量をみると、型染が34,932反（前年度34,872反）、手描染が23,243反（前年度24,731反）、機械捺染が90,924反（前年度105,750反）、インクジェットが64,152反（前年度64,858反）となっている。

全生産数量に占める割合でみると、機械捺染が42.6%（前年度45.9%）と最も多く、次いでインクジェットが30.1%（前年度28.2%）、型染が16.4%（前年度15.1%）、手描染が10.9%（前年度10.7%）となっており、インクジェットの占める割合が近年上昇している。

次に、生産量を前年度比で比較すると、型染が100.2%と微増し、インクジェットが98.9%と微減し、これらの2加工技術は、ほぼ前年度並みであったが、手描染は94.0%、機械捺染は86.0%と減少している。

また、生産量指数の趨勢について、平成27年度を100として令和7年度をみると、型染が32.0%、手描染が29.0%と大きく減少した。一方、機械捺染（ここではインクジェットを含む。）は、69.3%となり、減少幅は小さくなっている。

染色加工技術別の生産数量指数趨勢（単位：%）

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
型 染	91.1	76.7	72.9	62.2	49.0
手 描 染	82.7	87.9	74.0	63.6	38.0
機 械 捺 染	93.2	93.7	111.6	113.1	85.5

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
型 染	45.6	49.2	39.8	31.9	32.0
手 描 染	35.3	35.9	37.4	30.8	29.0
機 械 捺 染	83.0	87.6	76.6	76.2	69.3

平成27年度を100.0とした比率（平成19年度から機械捺染にはインクジェットを含む）

4. 素材別の生産数量

統計表の表－3から染色素材である正絹、合化繊について、それぞれの生産数量をみると、正絹が142,680反（前年度150,719反）、合化繊は70,571反（前年度79,492反）となっている。

これを生産数量に占める割合でみると、正絹は66.9%（前年度65.5%）、合化繊は33.1%（前年度34.5%）となっており、ここ10数年正絹は72%～79%で推移していたのが、令和5年度から70%を下回っている。

次に、生産量を前年度比で比較すると、正絹は94.7%、合化繊は88.8%といずれも減少している。

また、生産量の趨勢について、平成27年度を100として令和7年度をみると、正絹は44.4%と半減する一方、合化繊は76.6%となっている。いずれも、令和2年度から大きく落ち込みを見せているが、正絹の落ち込みが大きい。

素材別の生産数量指数趨勢

(単位:%)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
正 絹	87.1	82.3	88.3	87.2	65.7
合 化 繊	103.6	108.5	114.0	100.1	69.9

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正 絹	64.4	64.7	52.4	46.9	44.4
合 化 繊	61.9	76.8	83.1	86.3	76.6

平成27年度を100.0とした比率

5. 品目別の生産数量

統計表の表-4から品目別に生産数量を見ると、着尺が105,580反と、全生産量の49.5%を占め、次いで振袖が69,454反、32.6%、長襦袢が6,516反、3.1%、染帯が6,342点、3.0%、訪問着が3,682反、1.7%、つけさげが3,636反、1.7%、肩裏が2,698反、1.3%の順となっており、前年度と比べ、トップ2の順位は変わらなかったが、四ツ身、一ツ身が第3位から第8位に下降しているのが目に付く。

次に、生産量を前年度比で比較すると、減少量の大きい順に、着尺が△12,847反(△10.8%)、四ツ身、一ツ身が△4,662反(△73.0%)、振袖が△3,268反(△4.5%)などとなっている。増加したのは、染帯が1512点増(131.3%)、長襦袢が626反増(110.6%)などとなっており、この2品目と四ツ身、一ツ身絵羽(370反増(138.3%))、肩裏(605反増(128.9%))は、全体が7.4%減少する中で、率としては大きく増加している。

品目別に構成比を前年度と比較すると、着尺が51.4%から49.5%に減少する中で、振袖が31.6%から32.6%に伸びるなどそのポジションがますます大きくなっている。一方、近年、訪問着やつけさげは2%を切るようになっており、留袖に至っては令和に入ってから1%を下回るようになっている。

品目別の生産数量構成比

(単位：%)

区 分	着 尺	つ け さ げ	羽 尺	染 帯	四ツ身 一ツ身	四ツ身 一ツ身 絵 羽	長襦袢
平成27年度	42.2	1.9	0.1		1.6	0.9	16.5
平成28年度	43.9	1.9	1.7		1.4	1.3	11.4
平成29年度	46.0	1.5	1.3		1.3	1.3	10.2
平成30年度	41.7	2.2	1.0	2.8	1.2	1.0	14.9
令和1年度	38.9	2.4	1.0	2.5	1.2	1.1	17.0
令和2年度	36.6	1.9	0.9	3.0	1.6	1.0	15.6
令和3年度	36.9	2.4	0.1	2.9	1.4	1.2	14.1
令和4年度	39.9	1.4	1.0	2.7	2.0	0.7	10.7
令和5年度	49.8	1.7	0.7	2.7	1.7	0.9	3.3
令和6年度	51.4	1.8	0.6	2.1	2.8	0.4	2.6
令和7年度	49.5	1.7	0.6	3.0	0.8	0.6	3.1

区 分	肩裏	訪問着	振 袖	留 袖	熨斗目	その他	計
平成27年度	5.1	5.7	19.8	2.2	0.6	3.4	100.0
平成28年度	4.1	6.1	22.0	1.6	0.7	3.9	100.0
平成29年度	3.5	5.5	21.2	1.5	0.5	6.2	100.0
平成30年度	4.4	3.8	17.8	1.2	0.4	7.6	100.0
令和1年度	6.6	3.2	17.9	0.9	0.5	6.8	100.0
令和2年度	5.6	2.7	25.9	0.4	0.6	4.2	100.0
令和3年度	5.3	1.8	28.5	0.1	0.7	4.6	100.0
令和4年度	4.3	1.7	29.9	0.2	0.7	4.8	100.0
令和5年度	1.1	1.9	30.7	0.4	0.7	4.4	100.0
令和6年度	0.9	2.0	31.6	0.7	0.7	2.4	100.0
令和7年度	1.3	1.7	32.6	0.8	0.8	3.5	100.0

平成30年度から染帯を含めたため、過年度比較は単純にできない。

6. 指定伝統的工芸品「京友禅」、「京小紋」別の生産数量

経済産業大臣指定伝統的工芸品としての指定技法区分を基準とした「京友禅」、「京小紋」のそれぞれの範囲に入るものに区分した生産数量を統計表の表－1でみると、「京友禅（型染、手描染、ろうけつ染）」は51,573反（前年度53,852反）であり、「京小紋」は32反（前年度1反）となっている。

それぞれの生産数量に占める割合は、京友禅は24.2%（前年度23.4%）、京小紋は32%（前年度100.0%）となっている。

また、「京友禅」、「京小紋」合わせた生産量は51,605反で、前年度(53,853反)の95.8%に減少している。また、総生産数量に占める割合は24.2%(前年度23.4%)となっている。

7. 染帯の生産数量

統計表の表-1から染帯の生産数量をみると6,342点で、前年度(4,830点)と比べると131.3%となり、大きく増加している。

これを染色加工技術別にみると、手描染が3,359点と53.0%、型染が2,698点で42.5%、ろうけつ染が283点で4.5%、インクジェットが2点で0.0%となっており、機械捺染は0点で0.0%となっている。

また素材別でみると、合化繊は型染48点、手描染50点の合計98点のみで、残る6,244点は正絹となっている。

染帯の生産数量

区 分		型 染	手 描 染	ろうけつ 染	機械捺染	インクジ ェット	計
令和 2年度	生産数(点)	4,884	2,734	261	152	133	8,164
	構成比(%)	59.8	33.5	3.2	1.9	1.6	100.0
令和 3年度	生産数(点)	4,541	2,832	194	0	47	7,614
	構成比(%)	59.6	37.2	2.5	0.0	0.6	100.0
令和 4年度	生産数(点)	4,272	2,969	343	0	36	7,620
	構成比(%)	56.1	39.0	4.5	0.0	0.5	100.0
令和 5年度	生産数(点)	3,442	2,799	337	0	28	6,606
	構成比(%)	52.1	42.4	5.1	0.0	0.4	100.0
令和 6年度	生産数(点)	1,373	3,031	271	10	145	4,830
	構成比(%)	28.4	62.8	5.6	0.2	3.0	100.0
令和 7年度	生産数(点)	2,698	3,359	283	0	2	6,342
	構成比(%)	42.5	53.0	4.5	0.0	0.0	100.0

8. むすび

令和7年度分の調査結果は、前述のごとく総生産数量は213,251反となり、前年度比で92.6%となった。ここ10年間をみても、対前年度比で増加したのは平成30年度と令和4年度のみである。長年にわたる減少傾向に加え、新型コロナウイルスの影響からの回復が進まない状況となっており、最盛期(昭和46年度)の1.3%にまで減少している。このように京友禅業界のおかれている環境は、大変厳しいといえる。

そういう中で、染色加工技術別に10年間の趨勢をみると、全体で51.6%と半減しているが、機械捺染（インクジェットを含む。）は7割近くをキープしている。しかし、型染や手描染は3割前後に大きく減少している。また素材別にみても、正絹は全生産量の7割を切るようになっている。一方、品目別構成比の10年間の趨勢を見ると、振袖が2割弱から3割以上を占める一方、訪問着はほぼ6%から2%弱に減少している。今後の少子化の影響を考えると、振袖にも少なからず影響があるものと考えられる。また、四ツ身、一ツ身は令和6年度は対前年度比約1.5倍と大きく増加したが、令和7年度は対前年度比3割弱と大きく減少した。ライフイベントにおけるきものの再評価が継続していくことを期待したい。

京友禅業界は小幅染色の委託加工が中心であることから、生産加工数量の増減は、売上額（工賃収入）に影響するものである。個々の事業所にとって、経営や技術の継承の困難などといった産地の諸課題をいかに克服するか、大きな問題である。

今後一層、行政や業界関係者等と連携を図りながら、需要開拓や意匠開発、京友禅ブランド対策の充実はもとより、生産基盤の整備や後継者育成等事業者の支援対策を推進していくとともに、令和3年度より進めているシルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアムの枠組みを活用し、従来の枠を越えた取り組みの推進に努めていくこととしたい。また、京友禅サリー、チャイナドレス、カフタン等の試作品の制作に取り組んでいるが、きもの離れが進む中、海外市場を視野に入れた試作品の制作等にも力を注ぎ、新たな商品、販路づくりに努めていきたい。

統計表の目次

令和7年度分京友禅総生産数量表.....	[1]
----------------------	-----

(技法別、素材別、品目別)

年度別染色加工技術別生産数量表.....	[2]
----------------------	-----

年度別素材別生産数量表.....	[3]
------------------	-----

年度別品目別生産数量表.....	[4]
------------------	-----

令和7年度分 京友禅総生産量表

(表-1)

(単位 反)

区	分	型 染		手 描 染		ろ う け っ 染		機 械 捺 染		インクジェット		合 計
		本 絹	合 化 織	本 絹	合 化 織	本 絹	合 化 織	本 絹	合 化 織	本 絹	合 化 織	
着	尺	8,811	550	4,625	1,000	329		33,496	56,511	178		105,500
つ	け さ げ	501		3,085	50							3,636
羽	尺	46		1,165				94				1,305
染	帯	2,650	48	3,309	50	283				2		6,342
四ツ身、一ツ身		336	400	152						188	652	1,728
四ツ身、一ツ身	絵羽	48	1,000	171						117		1,336
長	襦 袢	1,396	780	3,418	400			522				6,516
肩	裏	2,200		258				240				2,698
絵	羽 織	140	30	83								253
訪	問 着	446		1,321	50	59				113	1,693	3,682
振	袖	10,356		419				60		55,947	2,672	69,454
小	袖											
打	掛			11								11
留	袖	1,172		438								1,610
熨	斗 目	700	800	142						72		1,714
ふ	と ん 地											
和	装 小 物	444	102	1,254	200			1				2,001
身	辺 細 貨 地	250		200								450
そ	の 他	584	1,042	771						45	2,473	4,915
	計	30,080	4,752	20,822	1,750	671		34,413	56,511	56,662	7,490	213,151
小	紋 着 尺 地	12	68									80
小	紋 羽 織 地											
そ	の 他 小 紋	20										20
	計	32	68									100
総	合 計	34,932		22,572		671		90,924		64,152		213,251

年度別加工技術別生産数量表

(表-2)

(単位 反)

区分		年度別		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		本	絹	95,809	85,693	71,759	67,849	60,149	45,815	43,674	47,083	37,066	29,522	30,112
型染友禪	合	化	織	13,521	14,741	12,106	11,814	7,892	7,765	6,205	6,715	6,467	5,350	4,820
	ウ	ー	ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小	計		109,330	100,434	83,865	79,663	68,041	53,580	49,879	53,798	43,533	34,872	34,932
手描友禪	本	絹		79,274	65,646	70,058	58,770	50,854	30,257	28,221	28,633	29,793	24,331	21,493
	合	化	織	1,000	703	540	600	200	220	131	150	210	400	1,750
	小	計		80,274	66,349	70,598	59,370	51,054	30,477	28,352	28,783	30,003	24,731	23,243
機械捺染	本	絹		101,658	80,812	77,073	113,341	123,737	84,986	80,308	73,510	46,976	41,415	34,413
	合	化	織	72,230	73,580	80,550	85,315	75,880	50,133	44,556	53,938	62,090	64,335	56,511
	ウ	ー	ル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
インクジェット	小	計		173,888	154,392	157,623	198,656	199,617	135,119	124,864	127,448	109,066	105,750	90,924
	本	絹		44,626	47,771	45,450	43,898	45,407	50,020	54,847	58,839	54,673	55,451	56,662
	合	化	織	5,409	6,442	6,766	7,315	8,282	6,325	6,163	9,974	7,806	9,407	7,490
合	小	計		50,035	54,213	52,216	51,213	53,689	56,345	61,010	68,813	62,479	64,858	64,152
	計			413,527	375,388	364,302	388,902	372,401	275,521	264,105	278,842	245,081	230,211	213,251

昭和43年度分～平成26年度分は省略

年度別素材別生産数量表

(単位 反)

(表-3)

区分		年度別											
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
本	型 染 友 禪	95, 809	85, 693	71, 759	67, 849	60, 149	45, 815	43, 674	47, 083	37, 066	29, 522	30, 112	
	手 描 友 禪	79, 274	65, 646	70, 058	58, 770	50, 854	30, 257	28, 221	28, 633	29, 793	24, 331	21, 493	
	機 械 捺 染	101, 658	80, 812	77, 073	113, 341	123, 737	84, 986	80, 308	73, 510	46, 976	41, 415	34, 413	
	インクジェット	44, 626	47, 771	45, 450	43, 898	45, 407	50, 020	54, 847	58, 839	54, 673	55, 451	56, 662	
	小 計	321, 367	279, 922	264, 340	283, 858	280, 147	211, 078	207, 050	208, 065	168, 508	150, 719	142, 680	
合 化 繊	型 染 友 禪	13, 521	14, 741	12, 106	11, 814	7, 892	7, 765	6, 205	6, 715	6, 467	5, 350	4, 820	
	手 描 友 禪	1, 000	703	540	600	200	220	131	150	210	400	1, 750	
	機 械 捺 染	72, 230	73, 580	80, 550	85, 315	75, 880	50, 133	44, 556	53, 938	62, 090	64, 335	56, 511	
	インクジェット	5, 409	6, 442	6, 766	7, 315	8, 282	6, 325	6, 163	9, 974	7, 806	9, 407	7, 490	
	小 計	92, 160	95, 466	99, 962	105, 044	92, 254	64, 443	57, 055	70, 777	76, 573	79, 492	70, 571	
ウ ー ル	型 染 友 禪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	機 械 捺 染	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計		413, 527	375, 388	364, 302	388, 902	372, 401	275, 521	264, 105	278, 842	245, 081	230, 211	213, 251	

昭和43年度分～平成26年度分は省略

年度別品目別生産数量表

(表-4)

(単位 反)

区分	回数 年度別	第48回	第49回	第50回	第51回	第52回	第53回	第54回	第55回	第56回	第57回	第58回
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
着	尺	174,605	164,788	167,715	162,283	144,946	100,836	97,504	111,249	122,157	118,427	105,580
つ	さ	7,731	7,090	5,533	8,722	8,787	5,293	6,297	4,034	4,156	4,201	3,636
羽	尺	398	6,196	4,758	3,945	3,785	2,420	348	2,728	1,764	1,371	1,305
染	帯				10,697	9,455	8,164	7,614	7,620	6,606	4,830	6,342
四ツ身、一ツ身	身	6,613	5,098	4,914	4,633	4,372	4,493	3,671	5,444	4,196	6,390	1,728
四ツ身、一ツ身	絵羽	3,628	4,887	4,903	3,854	4,072	2,802	3,235	1,875	2,088	966	1,336
長	襦	68,087	42,831	37,266	58,111	63,371	42,913	37,367	29,827	8,031	5,890	6,516
肩	裏	20,992	15,556	12,672	16,948	24,536	15,513	13,906	11,954	2,734	2,093	2,698
絵	織	643	889	548	298	502	457	159	85	216	311	253
訪	着	23,672	23,021	20,135	14,922	11,851	7,534	4,876	4,668	4,727	4,607	3,682
振	袖	81,720	82,541	77,093	69,086	66,616	71,325	75,365	83,425	75,167	72,722	69,454
小	袖	10	15	0	22	0	4	10	11	16	5	0
打	掛	209	135	217	331	153	96	56	98	19	15	11
留	袖	9,230	6,155	5,496	4,691	3,499	992	299	470	1,008	1,651	1,610
熨	目	2,338	2,524	1,927	1,622	1,874	1,554	1,876	2,070	1,726	1,573	1,714
そ	他	13,651	13,662	21,125	28,737	24,582	11,125	11,522	13,284	10,470	5,159	7,386
計		413,527	375,388	364,302	388,902	372,401	275,521	264,105	278,842	245,081	230,211	213,251

昭和43年度分～平成26年度分は省略